

◆ディプロマ・ポリシー 《学位授与方針》◆

【大学】

教育理念に基づき、次の能力を備え、所定の単位を修得した者に学士(看護学)の学位を授与する。

1. 豊かな人間性と倫理観を高め深い愛と癒しの対人関係力を有している。
 - ① 人の思いを汲みとる力
 - ② 愛と癒しについて考える力
 - ③ 高い倫理観を育てる力
 - ④ 対人関係を築く力
2. 生命の尊厳に基づきいのちを慈しむ心と思考力と行動力を有している。
 - ① 生命の尊厳について考える力
 - ② いのちを慈しむ心を育てる力
 - ③ 自らの考えを深めて表現し行動する力
3. 科学的な根拠に基づく臨床判断力と看護過程を展開する力を有している。
 - ① 科学的な判断に基づく臨床判断力
 - ② 的確な知識、理論に基づいた判断と技能を基盤とする看護過程展開力
4. 看護の課題に複眼的視座と専門的かつ創造的な看護実践力を有している。
 - ① 看護の課題を発見する力
 - ② 複眼的視座を持ち考える力
 - ③ 専門的かつ創造的な看護実践力
5. 看護学の発展のために自己研鑽し新たな看護の創出を目指す研究力を有している。
 - ① 学修を継続し自己研鑽する力
 - ② 看護学発展に寄与する基盤となる研究力

【大学院】

[高度実践看護職養成コース(助産師国家資格取得コース除く)、教育者・研究者養成コース]

1. 個人・家族・地域を多角的(身体・心理・社会面)に捉え、看護専門分野に関する理論や関連領域の知識・技術を基礎にして分析・考察し、エビデンスに基づく高度な看護実践、特に「セラピー：癒し」をもたらす実践ができる能力を有している。
2. 看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究を通して看護学の体系化とその発展に貢献できる教育・研究能力を有している。
3. 組織(政策も含む)に関する理論を基礎にして分析・考察し、組織の構築及び改善・改革できる能力を有している。
4. 社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関心を持ち、他職種の専門性を尊重し協働しながら、それらの課題に対応する方略を開発できる能力を有している。

[高度実践看護職養成コース(助産師国家資格取得コース)]

本コースでは、以下の能力を学位授与の方針とする。

1. 助産師として生命を重視する倫理観を持ち自律した助産実践者としての責任遂行力
2. 助産師としてのセルフケアと自己研鑽を続ける基本的な専門的自律力
3. 周産期医療における的確な知識と助産学・看護学の理論に基づいた基本的な助産実践力
4. 共に働く人々と連携・協働し助産実践対象者のより良い健康支援を目指す対人関係力
5. 母性看護・助産学分野における研究課題を発見し変革を目指して取り組む研究力